

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2022年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	高齢社会論		
担当者(Instructors)	西尾 敦史	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

世界でもっとも速く進行する高齢化、そして、なかなか増加しない出生数を実感し、かつ日本で生きていく自己及び日本社会の将来にどのような影響があるかを展望する。それぞれの地域や居住地で、少子・高齢化が地域とどのようにかわり、どのような問題が生じているかについて把握し、考察を加えることを目的とする。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	<p>講義を中心にすすめるが、各回のテーマに関連する課題(ワーク)についての意見交換やアイデア出しのワークショップを取り入れ、また、共有のためのディスカッションを行う。</p> <p>授業回の二分の一を超えない(7回以下)範囲で、オンライン(リアルタイム)で行うことがある。対面授業と同様の講義の質、双方向コミュニケーションを確保する。</p> <p>また、授業資料(教材)、課題については、すべてLMS(Microsoft Teams)上におく。</p>

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	高齢社会とは何か? 超高齢社会を展望する(ガイダンス)	高齢社会の状況、今後の見通し、政策課題について、超高齢未来という視点から概観する。データから、日本の少子化・高齢化、長寿化社会の実状を把握する。	<input type="checkbox"/>
第2回	超高齢社会を生きるためのライフデザイン	高齢社会には、人口の高齢化(マクロ)と長寿化(ミクロ)という二つの側面がある。個人のライフデザインについて、人生を100年と考える時代(Life Shift)と捉え、マズローの欲求段階説などから高齢期の生き方をQOLからデザインする。	<input type="checkbox"/>
第3回	ライフサイクルから考える高齢社会	高齢社会の課題について、家族のライフサイクル、また生活の多様化に伴ってライフコースという視点から考える。	<input type="checkbox"/>
第4回	老化と寿命	老化と寿命について、最新の科学的知見を踏まえ、またホモ・サピエンス人類史から考える。また、健康寿命について、変化してきている沖縄社会を取り上げて検討する。	<input type="checkbox"/>
第5回	高齢者の活躍(雇用・就業・活動)	高齢期の活躍のあり方を、雇用・就業に限らず、ボランティアな、また地域コミュニティにおける活動をとおして考える。	<input type="checkbox"/>
第6回	高齢期の住まい	家族の暮らしと住まい、介護が必要になったときの住まいの望ましいあり方、制度について学び、併せて近年、注目されている空き家の利活用についても学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第7回	高齢者の移動・交通	高齢者による交通事故、運転免許の返納が大きな社会問題になっている。その現状と対策について取り上げる。	<input type="checkbox"/>
第8回	人生の三世代モデル	ライフスパンを「子ども期」「おとな期」「高齢期」の3つに区分して考える人生の三世代モデルの視点から、高齢期の積極的な意味について考える。	<input type="checkbox"/>
第9回	高齢期のお金・経済	高齢期の生活を支えるためのお金・家計について考える。その中で非常に重要な意味をもつ年金保険の持続可能性についてマクロの視点から考える。	<input type="checkbox"/>
第10回	振り込め詐欺	高齢者が被害に遭いやすい振り込め詐欺。防止するための方法と併せて、若者が仕事感覚で参加する詐欺グループに焦点を当てて考える。	<input type="checkbox"/>
第11回	団塊の世代	戦後の日本社会、経済に大きな影響を与えてきた団塊の世代に焦点をあて、高齢期の生き方の提案から、その多様な可能性について考える。	<input type="checkbox"/>

第12回	次世代型路面電車とまちづくり	富山県富山市を事例として、次世代型路面電車を活用した、機能を集約したコンパクトな都市づくりの実状と課題を考察する。	<input type="checkbox"/>
第13回	買い物弱者の現出と対策	農山漁村部のみならず、都市部においても、市街地中心地区の商店街衰退により、食料品購入に支障をきたす事態が生じている。買い物支援の方策を考える。	<input type="checkbox"/>
第14回	世界遺産と高齢化	合掌造りで世界遺産に登録された白川郷は、豪雪地帯であり、村人同士のつながりにより自然と対峙してきた地域である。人口減少と高齢化の波が押し寄せる村に及ぼす諸影響と変化について捉える。	<input type="checkbox"/>
第15回	授業のふりかえりとまとめ	授業全体をふりかえり、永六輔の「大往生」をお手本にしながら、少子高齢社会のあり方や可能性についてまとめる。	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

各回の授業の課題テーマに関して、配布資料を参考に、書籍、メディアやインターネットなどで情報を収集し、関連する知識を得ておく（2時間）。各回の授業後、課題テーマに対する意見共有・ふりかえりを踏まえて、自分自身の意見・見解をまとめておく（2時間）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

毎回の授業の課題テーマに関する意見発表・全体での共有・ふりかえりを踏まえて、コメントを行う。次週の授業において、次のテーマへの関連する視点やポイントについて提示する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019全学共通DP1	学びの基礎となる社会、文化、自然、高齢社会等に関連する幅広い知識を修得しながら、専門知識を育み、それを活用することができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			50%	50%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

各回の授業のテーマに関する小テストおよび記述式課題（各15回）

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	授業で提示する。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	東京大学高齢社会総合研究機構 編、2017年『東大がつくった高齢社会の教科書 長寿時代の人生設計と社会創造』	978-4130624183
2	ユヴァル・ノア・ハラリ、2016年『サピエンス全史 上下』河出書房新社	978-4309226712
3	リンダ・グラットン/アンドリュー・スコット、2016年『L I F E S H I F T (ライフ・シフト) - 100年時代の人生戦略』東洋経済新報社	978-4492533871
4	山口文憲、2016年『団塊ひとりぼっち』文春新書	978-4166604968
5	NHKスペシャル「職業」詐欺”取材班、2009年『職業”振り込め詐欺”』ディスカヴァー携書	978-4887597457